



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月8日

上場会社名 ラサ商事株式会社 上場取引所 東
コード番号 3023 URL <https://www.rasaco.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青井 邦夫
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 桜木 和陽 (TEL) 03(3668)8231
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,766	2.7	290	36.9	345	17.1	208	△3.3
2025年3月期第1四半期	5,615	△14.6	212	△49.6	295	△37.0	215	△34.4

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 295百万円(8.4%) 2025年3月期第1四半期 272百万円(△36.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	19.37	—
2025年3月期第1四半期	19.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	30,991	21,735	70.1
2025年3月期	33,259	21,861	65.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 21,735百万円 2025年3月期 21,861百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	34.00	—	38.00	72.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	36.00	—	36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,000	1.4	730	2.7	810	△5.5	570	△10.2	53.07
通期	28,000	5.4	2,500	△1.3	2,700	△5.0	2,000	△3.8	187.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	11,383,838株	2025年3月期	11,383,838株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	643,747株	2025年3月期	643,747株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	10,740,091株	2025年3月期1Q	11,069,558株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料の3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(収益認識関係)	9
3. 参考情報	10
個別業績の概要	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により景気回復を支えることが期待される中、世界経済においては急激な物価上昇や米国の通商施策の影響、国際情勢の不安定感の高止まりなどから景気の下振れリスクが懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもとで当社グループは、2026年3月期から2028年3月期までの3か年を計画期間とする新中期経営計画「“Step Forward” Rasa 2027～成長のステージへ～」を策定し、前中期経営計画で強化を図ってきた経営基盤のもと、社会インフラを支える付加価値創出企業として、既存事業の安定的成長にとどまらず、新たなステージへの一歩を踏み出し、さらなる企業価値の向上に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は、主に化成品関連及び環境設備関連が増収となったことを受けて57億66百万円となり、前年同四半期と比べ1億51百万円(2.7%)の増収となりました。

利益につきましては、営業利益は2億90百万円となり、前年同四半期と比べ78百万円(36.9%)の増益となりました。経常利益は3億45百万円となり、前年同四半期と比べ50百万円(17.1%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は2億8百万円となり、前年同四半期と比べ6百万円(△3.3%)の減益となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の状況は、次のとおりです。

資源・金属素材関連では、当社取り扱い原料の需要停滞が続く中、取引高は前年並を維持し、関連部門の売上高は14億27百万円となり、前年同四半期と比べ2百万円(0.2%)の増収となりました。一方、売上原価・販管費において若干のコスト増加があり、セグメント利益は50百万円となり、前年同四半期と比べ18百万円(△27.4%)の減益となりました。

産機・建機関連では、民間企業向け主力ポンプ及びその他商品の大口案件が減少したことから、関連部門の売上高は17億53百万円となり、前年同四半期と比べ1億48百万円(△7.8%)の減収となりました。一方、部品・整備関連が比較的好調に推移したことから、セグメント利益は1億21百万円となり、前年同四半期と比べ68百万円(130.1%)の増益となりました。

環境設備関連では、民間向け大型ピストンポンプの部品・整備案件が重なり、水砕関連でも大型ポンプの部品販売が好調に推移したことから、関連部門の売上高は4億31百万円となり、前年同四半期と比べ1億95百万円(83.1%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は47百万円(前年同四半期は8百万円の損失)となりました。

化成品関連では、当社取り扱い原料の一部において中国の輸出規制により市況上昇が続いており、関連部門の売上高は16億41百万円となり、前年同四半期と比べ2億68百万円(19.6%)の増収となりました。また、売上増収からセグメント利益は31百万円となり、前年同四半期と比べ2百万円(6.9%)の増益となりました。

プラント・設備工事関連では、前期と比べ大型工事の工事量が減少したことから、関連部門の売上高は4億49百万円となり、前年同四半期と比べ1億66百万円(△27.0%)の減収となりました。また、売上減収によりセグメント損失は30百万円(前年同四半期は18百万円の利益)となりました。

不動産賃貸関連では、賃貸ビルの満室維持とテナント賃料の見直しがあったため、関連部門の売上高は95百万円となり、前年同四半期と比べ1百万円(1.3%)の増収となりました。また、賃貸収入増加に加え修繕費などが減少したことから、セグメント利益は53百万円となり、前年同四半期と比べ2百万円(4.4%)の増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は309億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億67百万円の減少となりました。

(流動資産)

流動資産は178億67百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億52百万円の減少となりました。

これは主に、現金及び預金で16億63百万円、受取手形、売掛金及び契約資産で6億87百万円の減少等があったことによるものです。

(固定資産)

固定資産は131億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円の増加となりました。

これは主に、投資有価証券で1億29百万円の増加があった一方で、繰延税金資産で37百万円の減少等があったことによるものです。

(流動負債)

流動負債は66億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億円の減少となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金で13億5百万円、電子記録債務で4億90百万円の減少等があったことによるものです。

(固定負債)

固定負債は26億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億40百万円の減少となりました。

これは主に、長期借入金で2億44百万円の減少等があったことによるものです。

(純資産)

純資産は217億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億26百万円の減少となりました。

これは主に、剰余金の配当で4億21百万円の減少があった一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益で2億8百万円を計上したことによる増加等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月14日付の2025年3月期決算短信で公表いたしました2026年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,732	4,068
受取手形、売掛金及び契約資産	7,224	6,537
電子記録債権	2,562	2,362
商品及び製品	4,545	4,737
未成工事支出金	49	59
原材料及び貯蔵品	5	6
その他	99	95
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	20,219	17,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,476	4,476
減価償却累計額	△3,049	△3,076
建物及び構築物（純額）	1,426	1,399
機械装置及び運搬具	479	479
減価償却累計額	△447	△450
機械装置及び運搬具（純額）	32	29
土地	6,000	6,000
その他	1,644	1,646
減価償却累計額	△1,547	△1,556
その他（純額）	97	90
有形固定資産合計	7,556	7,519
無形固定資産		
ソフトウェア	54	47
その他	2	2
無形固定資産合計	56	50
投資その他の資産		
投資有価証券	4,218	4,347
退職給付に係る資産	11	9
繰延税金資産	82	44
保険積立金	967	1,008
その他	153	152
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	5,426	5,555
固定資産合計	13,039	13,124
資産合計	33,259	30,991

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,113	1,807
電子記録債務	1,615	1,124
工事未払金	212	117
短期借入金	1,650	2,100
1年内返済予定の長期借入金	190	385
未払法人税等	507	152
契約負債	56	53
賞与引当金	417	198
工事損失引当金	27	29
その他	727	647
流動負債合計	8,518	6,618
固定負債		
長期借入金	2,174	1,929
繰延税金負債	336	341
役員株式給付引当金	160	160
その他	207	206
固定負債合計	2,878	2,637
負債合計	11,397	9,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,076	2,076
資本剰余金	1,835	1,835
利益剰余金	18,226	18,012
自己株式	△643	△643
株主資本合計	21,494	21,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377	454
繰延ヘッジ損益	△9	1
その他の包括利益累計額合計	367	455
純資産合計	21,861	21,735
負債純資産合計	33,259	30,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	5,615	5,766
売上原価	4,346	4,401
売上総利益	1,268	1,365
販売費及び一般管理費	1,056	1,075
営業利益	212	290
営業外収益		
受取利息及び配当金	17	21
持分法による投資利益	19	29
保険解約益	52	-
その他	8	13
営業外収益合計	97	65
営業外費用		
支払利息	5	9
保険解約損	8	-
その他	0	0
営業外費用合計	14	10
経常利益	295	345
特別利益		
固定資産売却益	0	-
特別利益合計	0	-
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	295	345
法人税等	80	137
四半期純利益	215	208
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	215	208

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	215	208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	76
繰延ヘッジ損益	19	11
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	57	87
四半期包括利益	272	295
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	272	295
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	化成品 関連	プラント ・設備 工事関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
日本	1,327	1,553	235	1,287	615	—	5,019
アジア	96	117	—	55	—	—	269
その他	1	230	—	30	—	—	262
顧客との契約から 生じる収益	1,424	1,902	235	1,373	615	—	5,551
その他の収益	—	—	—	—	—	63	63
外部顧客への売上高	1,424	1,902	235	1,373	615	63	5,615
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	—	—	—	30	30
計	1,424	1,902	235	1,373	615	94	5,646
セグメント利益 又は損失(△)	69	52	△8	29	18	51	212

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	212
その他	0
四半期連結損益計算書の営業利益	212

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						合計
	資源・金属 素材関連	産機・建機 関連	環境設備 関連	化成品 関連	プラント ・設備 工事関連	不動産 賃貸関連	
売上高							
日本	1,264	1,458	431	1,559	447	—	5,162
アジア	156	164	—	50	—	—	372
その他	6	130	—	31	—	—	167
顧客との契約から 生じる収益	1,427	1,753	431	1,641	447	—	5,701
その他の収益	—	—	—	—	—	64	64
外部顧客への売上高	1,427	1,753	431	1,641	447	64	5,766
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	1	30	32
計	1,427	1,753	431	1,641	449	95	5,799
セグメント利益 又は損失(△)	50	121	47	31	△30	53	272

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	272
セグメント間取引消去	0
棚卸資産	17
四半期連結損益計算書の営業利益	290

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	54百万円	46百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記情報(セグメント情報等)」に記載の通りであります。

3. 参考情報

個別業績の概要

2026年3月期第1四半期の個別業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 個別経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,254	6.5	249	75.1	410	85.0	289	△74.9
2025年3月期第1四半期	4,936	15.0	142	△52.8	221	△46.3	1,151	268.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	26.72	—
2025年3月期第1四半期	103.19	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	22,672	16,876	74.4
2025年3月期	24,455	16,927	69.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 16,876百万円 2025年3月期 16,927百万円